

今年度に青年部設立へ

県電設協 総会で事業計画決議

熊本県電設業協会（松尾修一会長）の2024年度社員総会が19日、ホテル日航熊本であり、事業計画や予算などが決議された。冒頭挨拶で松尾会長は、今年度にも青年部（仮称）を設立する考えを明らかにした。

松尾会長は7日の参院本会議で可決した建設業法と入札契約適正化法の改正に触れ、「後工程へのしわ寄せに対する対応として、『当事者が対等な立場での工期や請負金額の変更協議を行うこと』と明記された。これは変革のチャンスで、時間外労働上限規制をテコに処遇改善と働き方改革を進め、魅力アップと担い手不足解消に繋げた」と訴えた。



青年部については、50歳以下の経営者や次世代後継者で構成する組織の立ち上げを予定。夏頃にも準備委員会を設置する計画で、「これからの電設業界を若手が積極的に考える会にしていく」と協力を求めた。

今年度事業は、電気工事施工管理技士検定の事前学習会、低圧電気取扱やフルハーネス型墜落制止用器具使用作業の特別教育、ポフンティア活動、県等との意見交換会などを盛り込んだ。